

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	阪神尼崎駅前駐車場	施設所管課	都市整備局 道路課			
施設住所	尼崎市神田中通1丁目1番地	竣工	H7.7(築満29年)			
設置目的	道路交通の円滑化を図るため、道路法(昭和27年法律第180号)第24条の2第1項の規定により駐車料金を徴収することができる自動車駐車場(同法第2条第2項に規定する道路の附属物である自動車駐車場をいう。)として駐車場を設置する。					
主な事業内容	駐車場の施設及び付属設備の維持管理業務、駐車場の利用及び使用料の徴収に関する業務					
指定管理者名	阪神尼崎駅周辺まちづくり共同企業体	指定期間	自	R5.4.1	至	R10.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

指定事業の実施に当たっては、駐車場利用者のニーズを意識しながら、より効果的に実施していく。

実施結果

指標①および指標②について、ともに年度当初に設定した目標を達成した。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：駐車場の環境・使いやすさに関する利用者満足度（単位：％）											
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
目標	90%	90%									
実績	89%	94%									
達成度	99%	104%									
評価	△	○									

指標②：利用者アンケートにおけるコールセンター対応について「悪い・非常に悪い」と評価を除く回答の割合（単位：％）											
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
目標	94.0%	94.5%	95.0%	95.5%	96.0%						
実績	-	98.0%									
達成度	-	103.7%									
評価	-	◎									

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

双方において、修繕箇所の共有を図りながら運営に支障が出ないように迅速な対応を行っていく。

実施結果及び評価

維持修繕リストを双方確認の上作成し適宜協議しながら、修繕が必要な箇所の対応を実施した結果、利用者アンケートの満足度調査においても改善が見られ、目標を達成した。しかし修繕費の執行管理や修繕方法の工夫、執行時期などは理想の水準には達していないため改善を望む。

○

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

環境に配慮すべく、駐車場内でアイドリングを行っている利用者に対し、巡回時、積極的に声掛けを行い、エンジンの停止を促すとともに、電気・紙資源の消費減に努める。

実施結果及び評価

駐車場内のアイドリングについては、根気よく指導し利用環境の改善に努めた。今後は他施設との重複管理の中で効率性と利用環境の改善を図るよう、さらなる改善を求める。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	36,287,000	36,287,000	0	人件費	2,662,539	4,754,739	-2,092,200
				事業費	0	0	0
				施設維持管理運営費	28,123,300	34,290,957	-6,167,657
				その他	5,501,994	4,770,901	731,093
収入計	36,287,000	36,287,000	0	支出計	36,287,833	43,816,597	-7,528,764

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	団体の所有する資源の活用により、エリア全体を俯瞰した企画・広報が可能であることが指定理由である。 選定基準は①対象施設周辺エリアの賑わい創出、魅力向上が図られるものであるか ②市民の平等な利用が確保されるものであるか ③施設の利用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか ⑤賑わいづくりや魅力向上に向けて相乗効果を発揮するような新たな提案(加点)
指定管理者自身が設定した目標	駐車場の安定的な運営及び設備の適正な管理を行うとともに、認知向上を図ること等により、利用を促進する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		当該駐車場は、商業地や駅周辺道路の迷惑駐車、不法駐車などを防止することによって、道路交通の円滑化を図り、道路本来の機能を確保するとともに、商店街の活性化と安全で快適な都市づくりの一環として建設・供給されたものであり、この公共駐車場としての機能の最適化および拡充を図ること。					
目標指標	指標	使用料収入額(円)					
	指定期間	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況の評価
	目標値	76,540,000	76,540,000				目標値を上回った。
	実績値	84,459,500	81,864,850				

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理―事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
適正性	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況―提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	月1回の定例会にて活発な意見交換を行うほか、当施設の改善に向けて報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	年次計画書に基づき、適正な点検を実施しており、毎月点検結果を報告するなど情報共有を行っている。また、市からの維持管理に関する提案に対しても迅速に対応するなど適切な施設管理に努めている。	
パートナーシップ	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	駐車サービス券の大口販売先であるパチンコ店が閉店したことによる売上減少を抑えるべく、新たなサービス券販売先の拡充に向けて訪問、チラシ投函などの営業活動を行いました。訪問先からの購入は未だ0件ですが、引き続きターゲットを絞り検討してもらえようアプローチを続けていく所存です。また、設備の改修については、積極的な提案・相談を行い、順次実施しましたが、今なお対策が必要な箇所もあり、引き続き、ご協力をお願いします。また、今回のアンケートの結果を受け、容易に改善が図れそうな点につきましては、市と協議の上、検討・実施する予定です。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	駐車場収入については前年度よりやや減少したため、今後新規利用者の確保、利用者サービスの拡充、駐車場の価値向上、地域への賑わい創出を意識した業務運営を求める。トラブル対応時の業務報告書など、提出書類の様式が企業ごとに異なるため統一様式を作るなど企業体としての連携改善と提案内容に記載の総括管理体制の実行を求む。昨年度及び今年度に挙げた課題を整理し、残りの約3年間での改善・サービス向上を求める。また駐車場管理人員削減に対する対策が不十分であり、トラブルに対して対応や対策が後手になっている。特に安全面におけるサービス低下が著しく当て逃げによる施設破損事例も発生している。このような事故等を防ぎ、不測の事態に備える管理体制を講じ、利用者の安全確保につながるよう改善を求める。指定管理料の増額要望については、公募時に想定できる範囲であり選定の公平性確保の観点から更なる経営努力により現在の委託料内での効率的な運用を図るよう求める。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	期間中を通して、指定管理者のノウハウを生かし、健全な駐車場運営を行うことができた。アンケート調査で得られた利用者からの意見については、改善施策の検討・実施を順次行っていく。今後においても、安全性や利便性の向上を図りつつ、円滑な駐車場運営を実現するため、協力関係を強固にしていく所存である。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立立花駅第1～第7、立花駅南地下及び武庫之荘駅第1自転車駐車場	施設所管課	都市整備局 道路課			
施設住所	尼崎市立花町1丁目ほか	竣工	S56.4(築満43年)ほか			
設置目的	自転車等の利用者の便を図るとともに、公共の場所における自転車等の放置を防止し、もって良好な都市環境の確保と交通の円滑化を図るための施設として駐車場を設置する。					
主な事業内容	市立自転車駐車場の管理運営					
指定管理者名	公益社団法人尼崎市シルバー人材センター	指定期間	自	R2.4.1	至	R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に 主として期待 される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自転車駐車場利用者の満足度(%)の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合 70%以上

実施結果

自転車駐車場利用者の満足度(%)の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合70%以上を達成。(指標①)

指定管理期間すべてにおいて、満足度(70%以上)が達成できたことは、適切な施設管理に努めてきたと評価できる。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①： 自転車駐車場利用者の満足度【JR立花】（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	—	—	—	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績	74.3%	79.9%	76.7%	76.9%	74.1%	73.3%	73.3%	73.6%	71.1%		
達成度	—	—	—	—	105.9%	104.7%	104.7%	105.1%	101.6%		
評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○		

指標②： 自転車駐車場利用者の満足度【武庫之荘】（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	—	—	—	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績	55.3%	56.6%	62.1%	57.6%	78.0%	73.8%	74.0%	75.4%	75.1%		
達成度	—	—	—	—	111.4%	105.4%	105.7%	107.7%	107.3%		
評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

修繕予算内で多くの修繕を実施するために、10万円以上の修繕については2者以上に見積り依頼し経費削減を図る。

実施結果及び評価

10万円以上の修繕については、2者以上の見積もりを徴取し低額な事業者においての実施を徹底した。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

経費削減を図るとともに、環境に配慮した取り組みを行う。

実施結果及び評価

電気使用量に影響を与える設備改修や管理体制の変更を行っていないにもかかわらず、令和5年度と比較して電気使用量が増加した。増加幅は微増ではあるが使用量増となったことは、照明の間引き消灯などの意識向上の取り組みが十分に効果を発揮できなかったと考える。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	156,262,425	156,262,425	0	人件費	116,992,000	118,909,048	-1,917,048
				事業費	0	0	0
				施設維持管理運営費	15,600,000	13,399,728	2,200,272
				その他	23,670,425	21,909,783	1,760,642
収入計	156,262,425	156,262,425	0	支出計	156,262,425	154,218,559	2,043,866

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	「市民の平等な利用が確保されるものであるか」「駐車場の効用を最大限に発揮させるものであるか」「駐車場の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか」「駐車場の管理を安定して行う能力を有しているものであるか」の4分野
指定管理者自身が設定した目標	利用しやすい空間を提供し、自転車等の放置を防止する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		徹底した施設管理や従業員の接遇等により、利用しやすい空間を提供し、自転車等の放置の防止を促進する施設。					
目標	指標	自転車駐車場利用者の満足度の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合【JR立花】(%)					
目標	指定期間	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	達成状況の評価
指標	目標値	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	目標を達成した
指標	実績値	74.10	73.30	73.30	73.60	71.10	

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
適正性	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	重要課題については現地打合を実施するほか、適時の報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	施設の老朽化が進む中、所管課と密に打合せすることで修繕箇所の優先順位を決定し、限られた予算の範囲内で実施した。また次の年度に必要な施設修繕について、予算要求資料の収集に努め効果的な施設運営に向けた行動を実施した。	
パートナーシップ	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	施設の老朽化について、一部指定管理者で修繕を実施するなど、継続して尼崎市と協力し積極的な修繕に取り組む等、施設の維持管理を実施出来たと考えられる。また、防犯カメラ等、大規模な修繕に対して予算を確保に努められたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	指標に設定している利用者満足度は、指定管理期間当初から目標を達成しており、指定管理業務は良好に遂行されていると考える。	
	次期指定管理期間も共同企業体として当該施設を管理することから、これまでの経験及び共同事業体としてのノウハウを活かした運営を期待する。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	尼崎市との連携強化が施設の老朽化修繕や安全管理に不可欠である。これまでの指定管理期間での連携不足を踏まえ、共同企業体となる次期指定管理期間では、定期的な協議や情報共有を通じて効率的な施設運営を目指すとともに防犯カメラなど最新設備導入等、施設の安全性向上を目指していく。	

1 施設概要

(1) 基本的事項

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

効 率 性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか							
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 修繕予算内で多くの修繕を実施するために、10万円以上の修繕については2者以上に見積り依頼し経費削減を図る。							
	実施結果及び評価							
	10万円以上の修繕については、2者以上に見積もりを徴取し低額な事業者においての実施を徹底した。							
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）							
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか							
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 経費削減を図るとともに、環境に配慮した取り組みを行う。							
	実施結果及び評価							
	施設の運営に支障をきたさない範囲において、照明の間引きを実施しており電気使用量の削減に努めた結果、令和5年度と比較し使用料減となった。							
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している							
(参考) 経費の状況（単位：円）								
収入				支出				
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引	
指定管理料	26,857,971	26,857,971	0	人件費	18,342,720	15,879,020	2,463,700	
				事業費	0	0	0	
				施設維持管理運営費	4,862,719	4,147,665	715,054	
				その他	3,652,532	6,360,321	-2,707,789	
収入計	26,857,971	26,857,971	0	支出計	26,857,971	26,387,006	470,965	

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

適 正 性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

パートナーシップ	関係性の構築
	重要課題については現地打合を実施するほか、適時の報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）
	施設の老朽化が進む中、所管課と密に打合せすることで修繕箇所の優先順位を決定し、限られた予算の範囲内で実施した。また次の年度に必要な施設修繕について、予算要求資料の収集に努め効果的な施設運営に向けた行動を実施した。
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）
	施設の老朽化について、市と協力し積極的に修繕に取り組む等、施設の効率的な維持管理が実施できた。年々修繕箇所が増えている中、利用者スペース、特に安全に関する設備等の修繕を優先的に実施できるよう、市とより一層連携し、安全・快適な施設維持に努めていきたいと考えている。 また、昨今労働人員の調達に困難になりつつあるため、市と協力しながら駐輪場施設の機械化等により省人化を進めていきたいと考えている。従業員スペースの修繕についても雇用確保、健康維持の点において、市のご理解・ご協力を得て改善していきたいと考えている。

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立阪神尼崎駅北自転車駐車場及び阪神尼崎駅西自転車駐車場							施設所管課	都市整備局道路課						
施設住所	尼崎市神田中通1丁目、尼崎市神田中通3丁目他											竣工	S62.3.13ほか		
設置目的	自転車等の利用者の利便を図るとともに、公共の場所における自転車等の放置を防止し、もって良好な都市環境の確保と交通の円滑化を図るための施設として駐車場を設置する。														
主な事業内容	市立自転車駐車場の管理運営														
指定管理者名	阪神尼崎駅周辺まちづくり共同企業体							指定期間	自	R5.4.1	至	R10.3.31			

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)													
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()													

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）													
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）													
	自転車駐車場利用者の満足度(%)の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合 70%以上													
	実施結果													
	自転車駐車場利用者の満足度(%)の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合70%以上を達成。(指標①)													
	令和5年10月から一時利用の機械化、令和6年4月からは定期利用をエリア制に変更するなど、積極的な取組みを行ってきたが、利用方法変更により一時的に利用者が戸惑いを感じ、満足度が低迷したと考える。引き続き利便性向上につながる取組みに努めることで、満足度向上に努めてほしい。													
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況													
	指標①： 自転車駐車場利用者の満足度(%)の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合 70%以上													
	年度 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8													
	目標 - - - - - - - 70.0% 70.0% 70.0% 70.0%													
実績 - - - - - - - 43.5% 38.0%														
達成度 - - - - - - - 62.1% 54.3%														
評価 - - - - - - - × ×														
指標②： 自転車駐車場従業員の接遇に対する満足度（単位：％）														
年度 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8														
目標 - - - - - - - - - - -														
実績 - - - - - - - 55.1% 45.3%														
達成度 - - - - - - - - -														
評価 - - - - - - - -														
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）														
効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか													
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）													
	効率的な施設の維持管理運営により、市民サービスが維持・向上されているか													
	実施結果及び評価													
	令和5年10月1日より阪神尼崎駅北自転車駐車場において、一時利用にかかる部分の機械化を実施し施設の利便性の向上を図った。 ○													
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）													
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか													
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）													
	経費削減を図るとともに、環境に配慮した取り組みを行う。													
	実施結果及び評価													
一時利用における駐車許可を機械化することにより、人件費を削減するとともに駐車券の廃止によるペーパレスを実施した。 ○														
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している														
(参考) 経費の状況（単位：円）														
収入														
項目 予算額 決算額 差引														
利用料金 43,450,000 43,132,545 317,455														
支出														
項目 予算額 決算額 差引														
人件費 7,500,000 7,500,000 0														
事業費 0 0 0														
施設維持管理運営費 18,569,000 19,970,729 -1,401,729														
その他 2,607,000 0 2,607,000														
収入計 43,450,000 43,132,545 317,455														
支出計 28,676,000 27,470,729 1,205,271														

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①対象施設周辺エリアの賑わい創出、魅力向上が図られるものであるか ②市民の平等な利用が確保されるものであるか ③施設の利用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか ⑤賑わいづくりや魅力向上に向けて相乗効果を発揮するような新たな提案(加点)													
指定管理者自身が設定した目標	①、⑤シェアサイクルをさらに充実し市内周遊性を向上させる。 ②利用者ニーズの把握、平等な施設利用、不正利用の排除の方針に基づき、平等な利用を確保する。 ③、④定期をエリア化・一時利用を機械化、省人化の実現を図り、管理運営の削減を目指す。													

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	徹底した施設管理や従業員の接遇等により、利用しやすい空間を提供し、自転車等の放置の防止を促進する施設。													
目標指標	指標	自転車駐車場利用者の満足度(%)の「たいへん満足」及び「やや満足」の割合 70%以上												
	指定期間	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況の評価							
	目標値	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	施設の利便性向上策等を積極的に実施しているが、目標達成には至らなかった。							
	実績値	43.50	38.00											

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

重要課題については現地打合を実施するほか、適時の報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

機器の修繕や機械化等の利便性向上策について、所管課と密に打合せすることで迅速に対応し、利用料金制を導入している施設ではあるが市と協働して施設管理に努めている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

(成果) 尼崎北自転車駐車場の定期エリアを車室制からエリア制への変更を実現。 (課題) 定期券発行の有人対応からシステム導入による省人化を模索。 阪神尼崎駅西自転車駐車場の利用促進施策を模索。 阪神尼崎駅北自転車駐車場では、定期利用区画を車室制からエリア制へ変更したことに伴い、一部お客様から、駐車方法に関するご意見があったが、現在のご理解いただき大きなトラブルもなく、継続して市民サービスを提供している。今後は、エリア制としてできたスペースに定期契約者を受け入れるなど、定期契約者増となるよう、市と協議を進めていくこととする。 阪神尼崎駅西自転車駐車場の利用状況が低迷しており、利用促進に向けた有効策について、市と協議していきたいと考えている。 また、雇用確保が大きな社会問題となる中、安定したサービスを維持するため、令和5年10月から一時利用の機械化を実現した。引き続き、定期券販売システム導入など検討していきたいと考えている。また、モビリティ機能を強化すべく検討中であり、市とより一層協力し施設の利便性向上に努めたい。 なお、最低賃金上昇や物価高騰に伴い、施設運営に係る費用が事業開始前の想定を超えてきており、今後、サービスレベルを低下せざるを得ない状況に陥る可能性があるため、基本納付金の見直し(減額)をお願いしたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

指定管理2年目を迎え、一時利用の機械化や新たに定期利用のエリア制を導入するなど、一定、利用者の利便性向上に努めている。今後は、限られたスペースや賃金上昇などハードルはあるが、更なる工夫を凝らすことで利用率を向上させ、収益増加を目指し、収受代行制にはない利用料金制のメリットを最大限に生かし、増加した収入をもとにさらなる利便性の向上を図り、収益と利便性向上の好循環を生み出してほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

機械化など利用者の利便性向上に努めているが、利用者アンケートによる満足度が、令和5年度よりも低下している。指定管理者には新たな取組が満足度向上につながるように、アンケートを含む利用者の意見を参考とし、現場対応や運用面での工夫に努めてほしい。また、市と双方協力体制を維持し適切な施設管理に努めてほしい。
--